



2009～10 年度
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

Weekly Report Niigata



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

2009～2010 年度 国際ロータリーのテーマ



2009～10 年度
新潟ロータリー会長

小林 敬 直

新潟 RC 1 月第4例会 (2010.1.26) No.2833

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 小林 敬直会長挨拶

遷 宮

松本清張の『砂の器』では、岡山県の51歳の雑貨商が「この年になってまだお伊勢さまに詣っていない」と旅に出ます。そこから事件が起きるのですが、多くの日本人にとって伊勢神宮は一度は訪ねたい心の故郷です。そのことは現代でもあまり変わっていないと思います。

そこには、皇室の祖神である天照大神が中心に祭られています。しかし室町時代のあたりから、庶民の信仰の対象ともなりました。江戸時代には数次にわたり「おかげ参り」という参拝ブームが起きました。「一生に一度は」というお伊勢さん信仰の源流ということが出来ます。

そんな伊勢神宮と国民との紐帯の役割を担ってきたのが神宮の式年遷宮です。

式年遷宮とは20年に一度、内宮、外宮、別宮などすべての社殿を造り替え、神さまにお遷りいただく行事であります。社殿ばかりではありません。神に捧げる装束や宝物もすべて新調します。

その数は1500点あまりに上るといわれています。持統天皇の時代から1300年も続いてきた伝統です。一見ムダなように見えても、社殿や宝物などをつくる伝統技術を継承していくための知恵でもありました。

当然のことながら多くの財力と労力が必要です。このため江戸時代には幕府の将軍が太刀を奉納したり、上から下までこぞって寄進したりしました。さらに庶民は木材の切り出しなどの作業も引き受けました。そのことが「お伊勢さん」への求心力を増していったのだと思います。

平成25年は62回目の式年遷宮の年で、すでにさまざまな行事が始まっています。

平成21年11月3日には五十鈴川に掛かる宇治橋が新しい橋に掛け替えられ新しい宇治橋の渡り初め式が執り行われました。これは御遷宮の年の4年前と決められています。

4年後の遷宮で、日本人の心のきずなが強まることを願ってやみません。

(3) 委員会報告

塚田SAA

月に一度、イタリア軒さんのご協力で例会のお食事としていつものランチの他にサンドイッチ、カレーライスなど15食、用意頂きます。是非、お楽しみ下さい。

- (4) 卓話「ゴルフ世界に挑戦 ― 日米比較 ―」
JGTOツアープレイヤー 吉原 憲夫 氏

2月2日の例会予定

創立70周年記念式典について

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>

新潟ロータリークラブ創立70周年記念式典
2010年4月23日(金)